

公開ベッド試験の提案

平成17年12月2日
長野県協同電算

VDSL回線からの干渉が既存ADSL回線に及ぼす影響を調査する目的で行われた他社のシミュレーション結果やベッド試験結果は、以下の点で弊社のベッド試験結果と大きく異なる。

- 1) ADSL回線の下り伝送速度の低下量。
- 2) VDSL回線の線路長と、ADSL回線の下り伝送速度の低下量との相関関係。
- 3) ADSL回線を保護する目的でVDSL回線側に施した規制の効用。

よって以下のADSL機器とVDSL機器を使用した公開ベッド試験を提案する。

非干渉源： ADSL2/ADSL2+相当のADSL(FDM方式のシングル/ダブルスペクトラムADSL一対向)
干渉源： G.993.1AnnexA/CおよびAnnexFに準拠するVDSL(四および五対向)

VDSL機器は1.1MHz以下および640kHz以下の周波数をカットすることができるものを使用することが望ましい。また線路条件は下図において、



線路長Lと線路長M(線路長L / 線路長M)を以下とすることを希望する。

1.05km/0.05km	1.10km/0.1km	1.20km/0.2km	1.30km/0.3km	1.40km/0.4km	1.50km/0.5km
2.05km/0.05km	2.10km/0.1km	2.20km/0.2km	2.30km/0.3km	2.40km/0.4km	2.50km/0.5km
3.05km/0.05km	3.10km/0.1km	3.20km/0.2km	3.30km/0.3km	3.40km/0.4km	3.50km/0.5km

以上の条件であれば、公開実験を行うための場所とメタリックケーブルを弊社で用意することができる。NTビル内等で行うのであれば、メタリックケーブルだけを弊社で用意してもよい。